

1月30日に、盛会裏に終了いたしました。多数の方のご参加、ありがとうございました。

## 第54回センサ&アクチュエータ技術シンポジウム 「人工知能とセンサ応用（第2回）」

人工知能（AI）は、ディープラーニングを中心として、応用が多分野に於いて進められ、ブームに火がついた感があります。しかしながら、センサ応用に関しては、実用化に当たって諸処の課題が残っていると同時に、いろいろな実例の実情を知ることが急務となっております。

当協議会では2018年1月に東京大学名誉教授の甘利俊一先生をはじめ、研究部門の方々に講師を迎え「人工知能とセンサ応用（第1回）」シンポジウムを開催しました。また、独自のディープラーニングの実習セミナーを開催し、すでに100名近くに受講いただいています。

そこで第2回目のシンポジウムでは、第一線で活躍中の研究者の方々に人工知能のセンサ応用に関して、さらに踏み込んだ研究成果や課題をご講演いただきます。内容は、限られたセンサ情報から有益なデータを解析する方法、インフラや設備のメンテナンスや異常診断への応用と、理論から実用まで幅広く、多くの会員にとって有益なものであると期待されます。昨年同様、沢山の参加をお待ち申し上げます。

### プログラム

13:00~13:30	<b>挨拶&amp;解説「人工知能研究の動向とセンサ応用の課題」</b>  フリーランス・コンサルタント 前田賢一氏
13:30~14:30	<b>講演「機械学習による高次元大規模データの解析」</b> データを取得するセンサと情報処理を行う計算機の発達にともない大量のデータを扱う環境が整いつつある。これにともない大規模な高次元データを効率良く取り扱う方法としての機械学習への期待が高まっている。本講演では、機械学習を用いた情報処理の考え方をいくつかの事例を交えながら紹介する。  早稲田大学 理工学術院 教授 村田 昇氏
14:30~14:45	休 憩
14:45~15:45	<b>講演「土木工学への AI 技術の活用と将来像」</b> 本講演では、人工知能技術の土木工学、特にインフラメンテナンス・防災への適用事例について紹介する。また、人工知能技術の進化の方向性を見据えながら、土木工学ならではの問題、それを踏まえた将来像などについても概観を述べる。  愛媛大学 工学部環境建設工学科 准教授 全 邦釘氏
15:45~16:45	<b>講演「適応的エリアセンシング手法を用いた知能化設備異常診断」</b> 日本鉄鋼協会で推進中の研究会「適応的エリアセンシング手法を用いた知能化設備異常診断」では、製鉄所の安定稼働・レジリエンス向上を目指し、高度なセンシング画像をベースとした大量データをもとに、人が見つけるのが困難な異常部位・異常状態の診断技術をテーマに研究開発を進めている。本講演では、この研究会の狙いと活動内容を紹介する。  神戸大学 大学院システム情報学研究所 教授 玉置 久氏
16:45-17:00	<b>名刺交換、意見交換</b>

日 時： 2019年1月30日（水） 13:00~17:00

場 所： 中央大学駿河台記念館 6階 670号室（〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5）

主 催： 一般社団法人次世代センサ協議会

協 賛： 一般財団法人光産業技術振興協会、一般社団法人電気学会、公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本電気計測器工業会、センシング技術応用研究会、一般財団法人マイクロマシンセンター、一般社団法人日本計量機器工業連合会、特定非営利活動法人安全工学会、MEMSパークコンソーシアム、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、フジサンケイ ビジネスアイ

■参加費： 次世代センサ協議会会員 11,000円 / 次世代センサ協議会研究会員 13,000円  
(テキスト代、消費税込) 協賛団体会員 13,000円 / 一般 20,000円 / 学生 3,500円

■事務局： 一般社団法人次世代センサ協議会  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3-4F FORCAST 神田須田町 4F  
Tel.03-5294-2333 E-mail office@jisedaisensor.org